

令和7年伊賀市議会定例会 令和8年2月定例会月会議 一般質問通告者一覧

【発言予定日 3月5日（木）】

| 発言<br>順位 | 発 言 者 | 発 言 の 要 旨   |
|----------|-------|---|
| 1        | 福村 教親 | 1 市長の公務中の接触事故に対する報告義務を怠った事案について<br>(1) 事実関係の整理<br>(2) 危機管理及び初動対応<br>(3) 政治責任<br>(4) コンプライアンス及び服務規律<br>(5) 再発防止と信頼回復   |
| 2        | 大石 亮子 | 1 子どもの権利条例制定における子どもの参画について<br>(1) 条例制定過程における子どもの参画の位置付け<br>(2) 条例制定における教育委員会の役割<br>(3) 子どもの参画の方法と条例への反映<br>2 図書館の集約と地域の居場所について<br>(1) 図書館の居場所機能の認識<br>(2) 機能集約と地域での居場所機能の在り方                                  |
| 3        | 宮崎 栄樹 | 1 農業の渇水・高温対策にどう取り組むか<br>(1) 現状の把握<br>(2) 市独自のセーフティネットの構築<br>2 伊賀の企業発見フェア「イガプロ」の可能性を広げよう！<br>(1) 成果と課題<br>(2) 今後の展開<br>3 過疎地域の地域福祉をどう進めるか<br>(1) 市の方針は<br>(2) 高尾地区の取組への支援<br>(3) 「まち」と「むら」の持続可能なまちづくりを目指す市長の思い |
| 4        | 陶山 美佐 | 1 市営住宅について<br>(1) 市営住宅の現状<br>(2) 市営住宅の集約、再編の判断基準<br>(3) 住み替え支援（仮住まいを含む）合意形成<br>(4) 将来ビジョン・まちづくり<br>2 青山保健センター運動施設プールの今後<br>(1) 2月5日市民説明会について<br>(2) 福祉行政としての考え方<br>(3) 今後具体的支援策                               |

| 発言<br>順位 | 発 言 者  | 発 言 の 要 旨   |
|----------|--------|---|
| 5        | 森 川 徹  | 1 市職員のSNSの取り扱いについて<br>(1) 市職員のSNSを使用する際のルール<br>(2) 罰則の基準<br>(3) 副市長、教育長、市長のSNSの取り扱い<br>2 伊賀鉄道の今後について<br>(1) 経営状況と将来の経営<br>(2) 伊賀鉄道の未来                           |
| 6        | 北山 太加視 | 1 上野総合市民病院の経営について<br>(1) 経営強化プラン策定の意義<br>(2) 経営強化プランの達成状況<br>(3) 新たな地域医療構想の影響について<br>2 公共施設最適化計画の進捗について<br>(1) 直近の進捗状況<br>(2) 具体的な成果と今後の見通し<br>(3) ハコモノ減量の市長の姿勢 |

【発言予定日 3月6日（金）】

| 発言<br>順位 | 発 言 者   | 発 言 の 要 旨   |
|----------|---------|---|
| 7        | 北 森 徹   | 1 伊賀市における稼げるまちづくりについて<br>(1) 稼いでいる他市との違い<br>(2) 自主財源を作ると何ができるのか<br>(3) 伊賀市の未来像  |
| 8        | 百 上 真 奈 | 1 伊賀市の読書活動と学校図書館について<br>(1) 伊賀市教育委員会および各校の取組<br>(2) 学校図書館司書および学校図書館活用アドバイザーの活動<br>(3) 課題とさらなる充実に向けて<br>2 一般廃棄物処理基本計画とごみの資源化推進について<br>(1) ごみの資源化についての考え方と取組<br>(2) 給食残渣等の堆肥化と活用による資源循環<br>(3) 衣類、制服、補助教材等のリユース（再利用）<br>3 子育てと仕事の両立について<br>(1) 伊賀市職員の育児短時間勤務・育児部分休業の状況<br>(2) 子育てと仕事の両立のために |
| 9        | 桃 井 弘 子 | 1 市長の政治的スタンスについて（その3）<br>(1) 阿波診療所について<br>(2) 大山田地域産業廃棄物最終処分場について<br>(3) 伊賀市の方向性について<br>2 防災について<br>(1) 地域防災について<br>(2) 消防団について   |

| 発言<br>順位 | 発 言 者 | 発 言 の 要 旨  |
|----------|-------|--|
| 10       | 浅川 友和 | 1 子ども期から若者期へつなぐ若者定住政策<br>(1) 若者定住・雇用対策のこれまでの成果認識<br>(2) 奨学金等返還支援事業の実効性と周知の在り方<br>(3) 若者定住に向けた本市の全体戦略<br>(4) 奨学金等返還支援事業の検証と次段階への方針<br>(5) 若者定住に向けた産業・雇用戦略との連動<br>2 妊娠期における伴走支援と連携体制<br>(1) 妊娠期における伴走支援体制<br>(2) 妊娠期における関係機関の連携体制<br>(3) 妊娠期支援の価値と今後の方向性<br>(4) 妊娠期支援を伊賀市の価値として位置づける考えについて<br>3 地域公共交通の将来ビジョンについて<br>(1) 地域公共交通計画の進捗状況<br>(2) 次期地域公共交通計画の方向性<br>(3) 若者定住を支える公共交通の位置付け<br>(4) 公共交通の将来ビジョン |
| 11       | 赤堀 久実 | 1 地域の安全対策について<br>(1) 防犯カメラの設置状況と今後の取組み<br>2 誰もが安心して歳を重ねることができる「幸齢社会」づくりの実現について<br>(1) 持続可能な権利擁護支援モデル事業<br>(2) 成年後見人制度（任意後見制度・法定後見制度）について<br>3 HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチン接種について   |

| 発言<br>順位 | 発 言 者   | 発 言 の 要 旨  |
|----------|---------|--|
| 12       | 西 田 方 計 | <p>1 横断的な人権啓発の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 横串を刺す難しさと工夫している点</li> <li>(2) 宅地建物取引に関する人権啓発</li> <li>(3) 横串を刺して住民窓口現場でできる人権啓発</li> <li>(4) 地域社会での人権啓発</li> <li>(5) 保育・学校教育での人権啓発</li> </ul> <p>2 「市民憲章」の周知状況と活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市民憲章の価値の確認</li> <li>(2) その周知状況</li> <li>(3) 本庁や各支所への掲出は</li> <li>(4) 学校等への掲出は</li> </ul> <p>3 「都市マスタープラン」多核連携型都市実現に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「攻めの拠点づくり」の実情は</li> <li>(2) 「起業支援中間組織」の育成をどう進めていくのか</li> </ul> <p>4 「過疎地域持続的発展計画」の期限を迎えて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市民に向けた状況報告の仕方</li> </ul> <p>5 遊びごころのある伊賀市役所に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「忍者市役所」とは</li> <li>(2) 親しまれるアイデアを</li> </ul> |

【発言予定日 3月9日（月）】

| 発言<br>順位 | 発 言 者 | 発 言 の 要 旨   |
|----------|-------|---|
| 13       | 福岡 正康 | 1 大山田公共施設複合化整備方針「10月21日議員全員協議会資料」<br>(1) これまでの経過・課題・基本的な考え方<br>(2) 複合化施設の整備方針・事業費等<br>(3) スケジュール等<br>2 伊賀市消防団活性化計画<br>(1) 組織・活動の在り方・地域との係わり<br>(2) 市第4次総合計画<br>3 大山田地内に建設予定の産業廃棄物最終処分場について<br>(1) 水道水源保護審査会<br>(2) 市長の考え方を実現する手法  |
| 14       | 寺村 京子 | 1 人口減少下における保育提供体制の再設計<br>(1) 私的待機児童が発生している要因の整理と、人材確保・配置の認識について<br>(2) 公立保育所における保育士採用と0～2歳児受入体制への影響について<br>(3) 校区外通園および一時保育の利用実態の把握状況について<br>(4) 上野地区における民間地域型保育事業（定員36名）の位置づけについて<br>(5) 施設老朽化および児童数の偏在を踏まえた再配置の方向性<br>(6) 民間活用の可能性と条件整理について<br>(7) 保護者ニーズの再把握について<br>2 観光振興ビジョン再策定に向けて<br>(1) 観光の現状評価と課題認識について<br>(2) 交通軸を踏まえた具体的ターゲット設定について<br>(3) 上野市駅前および周辺公営駐車場の方針について<br>(4) 観光施策の実行体制のあり方について |
| 15       | 内原 篤  | 1 命を守るがん検診と命を支える緩和ケアについて<br>(1) がん検診受診率向上に向けた現状と課題<br>(2) 伊賀市における緩和ケアの提供体制について  |
| 16       | 上田 宗久 | 1 これからの伊賀市の事業と財政について<br>(1) ごみ広域化処理施設概算事業費<br>(2) 市民病院の建替え規模<br>(3) 旧上野ふれあいプラザの跡地活用<br>(4) 上記3事業の優先順位   |

| 発言<br>順位 | 発 言 者   | 発 言 の 要 旨   |
|----------|---------|---|
| 17       | 森 中 秀 哲 | <p>1 こどもの権利条例の理念を踏まえたこどもの貧困対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 継続的な食事支援</li> <li>(2) こどもと家庭を支援する「第三の居場所」</li> <li>(3) こどもを支える団体・市民等への支援</li> </ul> <p>2 県立あけぼの学園高校の募集停止に対する伊賀市の今後のアクションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 募集停止発表後、市がとった対応</li> <li>(2) 市の教育環境への影響評価と機能保障</li> <li>(3) 今後の対応方針</li> </ul> |